

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ;

創立： 1985 年 3 月 27 日; RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665);

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F;

電話： 059-383-7077; FAX: 059-383-0501;

E-Mail: info@rotary-suzuka-west.org; <https://www.rotary-suzuka-west.org/>

例会場： 鈴鹿商工会議所 別館 1F 会議室; 例会日： 火曜日; 例会食事： 12: 00; 例会： 12: 30-13: 30;

UNITE

FOR

GOOD

よいことのために手を取りあおう

2026 年 4 月 7 日(火)第 1825 回例会

例会場： 鈴鹿商工会議所 別館 1F 会議室

開始： 12: 30 終了： 13: 30

例会進行： 服部高宣 副 S A A

点鐘： 会長 森 喜代造

ソング： 君が代 奉仕の理想

ソングリーダー： 川戸広樹 会員

入った時の初任給は 1 万 8 千円でありました。さて、令和 8 年度の幕開けでございます。鈴鹿市の財政も 815 億円で一年間やりくりしますが、戦争の影響から材料費が高騰したりすると、将来どうなるのかと危惧するところでございます。また、この 5 月からは市指定のゴミ袋が値上がりします。そして、7 月からも一般的な物価の値上がりがあるそうです。

さて、先般ロータリーデーの取り組みの中で、桜まつりの会場においてポリオの募金活動をしました。おかげで 1 万 4 千円程の寄付を頂きました。

日本においては、定期接種化により、1980 年以降、野生株の患者は出ておりません。

ところで今日 4 月 7 日は世界保健デー、略して WHO の創立記念日でございます。

昭和 23 年 4 月 7 日創立の WHO は、コレラ、ペストなどの伝染病やマラリア、デング熱の風土病などをなくし、誰もが良薬を入手しやすくして、各国民の健康増進を目的とする、いわゆる国連専門機関の一つであります。

まだ、世界においてポリオは絶滅していません。世界のロータリーではポリオ絶滅に向かって頑張っておりますので、日本においても寄付の意識を持って頑張りたいと、いう思いであ

会長挨拶

森 喜代造 会長



皆さん今日は。だいぶ春めいて来ましたが、もう桜のほうも散り始めております。また、4 月の初めは各企業の入社式や公務員の入庁式が行われております。

今、新入社員の初任給でございますが、一番高い企業は保険会社で初任給は 40 万円、多いところでは 45 万円だそうです。ちなみに鈴鹿市役所は 23 万 7 千 6 百円でございます。私が役所に

ります。

最後になりますが、先般、行われました桜まつりは小雨の中、皆さまには、大変お世話になり本当にありがとうございました。

以上で一言のご挨拶とします。ありがとうございました。

幹事報告

柴田友美 幹事



1. 当クラブ例会変更のお知らせ
*2026年4月28日(火) 休会
2. 2026年4月のロータリーレートは、160円です。
3. 4/11(土) 2026年クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーの案内と出席者名簿および新たにプログラム、地区年間行事一覧表などの資料を関係各位に配付してございます。ご確認を宜しくお願い致します。
4. 本日例会終了後、臨時 現・次期理事、役員会を事務局において開催いたします。関係者はご参集願います。

委員会報告



*ロータリーの友 4月号紹介

川戸広樹 クラブ広報委員長

出席報告

江藤隆仁 出席委員長

正会員 23名中 9名出席 出席率 52.94 %

ニコニコボックス報告



藤野恵子 親睦・家族委員長

敬称略・順不同

※多額

※森 喜代造: 岩崎会員、本日よりしく願います。

柴田友美: 森会長、服部さん、岩崎夫妻、藤野さん、江藤さん、小林一家、野間さん、森豊さん
天候の悪い中、桜まつり、ポリオ募金への参加ありがとうございました。

本日のプログラム



「環境月間にちなんで」

伊藤義一 社会奉仕委員長



「ロータリー 一口情報」

岩崎 透 ロータリー情報・スター委員長



Primary Question 7つの設問

- 1.ロータリークラブとは
- 2.その理念
- 3.活動目的
- 4.活動内容
- 5.個人的な・プラス面とマイナス面
- 6.ロータリアンであり続ける理由
- 7.なぜロータリーに入会するのか？



ロータリークラブとは

職業も年齢も違う大人たちが、
奉仕活動を通じて、地域や世界をより良く
しようとする、国際的な団体です。



ロータリーの理念

その基本に有るのは

- 自分のためだけでなく、誰かの為に行動することが、
人生を豊かにする という考え方です。
1.誰かの笑顔をつくる。 2.地域を少しでも良くする。
3.若い世代を支える。 4.困っている人の力になる。
- こうした行動が、ロータリアンにとっての
生きている実感につながります。



私たちにとって ロータリーとは



Primary Question

より良い前進のために
日常言葉で考えました
あとで議論を

鈴鹿西ロータリークラブ
情報委員会



活動目的（起源）



- ロータリーは“信頼できる社会をつくること”を目的に始まり
ました。その原点は“信頼できるビジネスの和を作る”た
めに始まったという歴史にあります。
- 大切にしている価値観は、正直さ、公正さ、他者への配
慮、社会への貢献。
- 信頼の文化がある地域は、自然と
人が助け合い、活気が生まれます。



活動内容は



- ローターは、単発のボランティアではなく、継続的に地域を支える仕組みを持っています。
- 主な活動分野は、子供支援、災害復興、教育・奨学金、地域文化の継承等です。
- さらにロータリーは、世界中にクラブがあり、国境を越えて協力できる国際ネットワークを持っています。例、ポリオ根絶活動、水と衛生のプロジェクト、平和構築、国際交換学生
- 個人ではできない規模の活動です。



ロータリアンであり続ける理由



- ローターが活動を続ける理由は、入会時よりも続ける中で、大きく育っていくことが多いからです。
 1. 活動を通じて人とつながる。
 2. 自分を磨き続けられる。
 3. 役に立てる誇り。
 4. 人生が豊かになる実感

ロータリーは**学び続ける大人の共同体**でもあります。



個人的なプラス、マイナス面



プラス面-1

- ローターは 奉仕の場 であると同時に、人生を豊かにする 仲間づくりの場 でもあります。
- 異業種の人と出会える。地域と世界がつながる。
- その活動は、人生に物語を与えてくれます。



なぜ入会するのか-1



- 入会理由は人それぞれですが、
 1. 自分の成長の為。
 2. 異業種の人との 深い交流。
 3. 例会や卓話での学び。
 4. リーダーシップやコミュニケーション力の向上。
 5. 地域で活躍する人たちとの継続的なつながり、と **自身の誇り、自覚。**



プラス面-2「人生に物語を」



- 地域の為に行動した経験。
- 出会によって人生が変わった瞬間。
- **奨学生の未来を支えたこと。**
- 仲間と一緒にやり遂げた達成感。
- こうした経験は、年齢を重ねるほど輝きを増し
- **“良い人生を歩んでいる”** という実感につながります。



なぜ入会するのか-2



- 6. ビジネス目的ではなく、人としての繋がりを大切にできる文化が根付いています。
- 7. 社会や地域に貢献したいという思い。
- 8. 仲間と一緒に何かを形にする喜び。
- 9. 人生に意味や、役割を求める。
- 10. 続ける中で入会時理由以上の価値が育つ。



マイナス面（生じる負担）



- ローターも普通の人です。より良く生きようとする人の集まりだからこそ、葛藤もあります。
- ・ 時間的、経済的負担、人間関係の気遣い、奉仕は喜びのはずなのに、義務化で面倒になる時もあります。然しこうした葛藤を抱えながら続けることが、**人を理解し、地域を理解して社会的リーダーへと成長する道でもあります。**



終了

ご清聴ありがとうございました

西ロータリー情報委員会



“鈴鹿・亀山グループ ロータリーデー”

月日：2026年4月4日（土）

場所：旭化成（株）鈴鹿製造所 鈴鹿さくら
祭り会場内



**2025-26 年度地区奨学金補助金奨学生
宮里倫史様 3 月度近況報告**

大変お世話になっております。2026年3月の活動についてご報告させていただきます。今月は特に大きなイベントに参加することはなく、通常授業と来月のコンクール用の録画に向けて準備する期間となりました。

今学期は通常授業の一つとして通奏低音(チェンバロ等の古い時代の鍵盤楽器によってメロデ

ィ楽器を適切に伴奏していく技術)を取っており、今学期末にはそれに伴う室内楽を行う予定でもあります。古楽器から現代音楽までここでは幅広く学ぶことは、その両端に通ずる意外な共通点を実感することができ、それを広範なレパートリーへと適用することができるように思います。

また、今月からは修士論文への準備も本格的に始めています。芸術表現から受け取る主観的な情緒だけではなく、作曲家の手法や作品の構造に主眼をおき、歴史的な文脈を含めてそのバランスを取りながら説得力のある論文を書くことが求められます。来学期を含めて講師の方の助力をいただきながら、きちんとしたものを書き上げる所存です。

先述したように来月はコンクールへの録画を行い、その後はコンサート、そしてできればコンクールへと参加していく予定です。最初に参加する可能性のあるコンクールは7月に行われ、その前には二つ大きなコンサートに出演します。その一つは試験を兼ねたオーケストラとの共演であり、しっかりと準備を行っていきたいと思います。

会報発行担当：江藤隆仁